

大阪経済記者クラブ会員各位

医療現場ニーズ提案数累計 1,000 件到達記念イベント 「MDF 医工共創アワード JAPAN」を初開催！ 医工連携による医療機器開発・事業化に貢献した医師と企業を表彰

〔お問合せ〕大阪商工会議所 産業部（篠崎、松山）

T E L : 06-6944-6484

大阪商工会議所は、医療機器開発支援事業「次世代医療システム産業化フォーラム」(Medical Device Industry Forum: MDF) における医療従事者から企業に向けた共同開発提案の累計が **1,000 件に到達**することを記念し、万博の開催を機に更に事業を活性化させることを目指したイベント「**MDF 医工共創アワード JAPAN～未来の医療をデザインする医工連携の最前線～**」を 7 月 28 日（月）に開催する。

本アワードでは、**MDF の医工連携マッチング例会等を通じて事業化・製品化に至った 74 件の中から、医工連携の取り組みで成果を上げている新規参入型の企業 5 社をノミネート**。当日はノミネート企業の中から、MDF 座長陣の審査によって「**最優秀賞**」、「**優秀賞**」、「**奨励賞**」をそれぞれ決定し、表彰するほか、**医工連携による医療機器開発に貢献した 7 名の医師にも「特別賞」を授与**する。

また、万博・大阪ヘルスケアパビリオンにも出展し、異業種から医療分野への参入を進めるものづくり企業、株式会社椿本チエインが特別講演を行うほか、会の後半では、MDF2025 会員限定イベントとして「**MDF2025 第 1 回医工連携マッチング例会**」を開催し、**特別賞を受賞した医師が医工連携による新たな製品化に向けた共同開発提案を行う。**

- 医療機器の事業化にあたっては、医療現場のニーズをくみ取り、開発に活かすことが不可欠だが、多様な技術を持つ異業種の新規参入型の企業が医療現場ニーズにアクセスする機会は少ない。そこで大阪商工会議所は 2003 年から「次世代医療システム産業化フォーラム」(MDF) を開催し、全国の医療・研究機関、企業を対象に医療現場ニーズと企業とのマッチングを継続的に実施してきた。
- フォーラム立ち上げ当初は主にマッチングに注力していたが、医療機器開発のプロセスにおいては、臨床試験や法規制対応など業界特有の課題が山積しており、マッチングだけでは事業化にたどり着かないケースが散見された。そこで、事業化に向けたあらゆる課題に対応できる医療機器開発の経験が豊富な事業化支援アドバイザーを揃え、現在では 20 名超のアドバイザー体制のもとマッチング後のサポートも手厚く行い、出口まで切れ目のない一貫支援を構築している。
- 全国の医療・研究機関のネットワークを活かして収集した約 4,000 件の案件の中から、経験豊富なアドバイザーによるスクリーニングを通過した、事業性や医療上の有用性が高い、良質な選りすぐりの 999 件の医療現場ニーズを企業へ届け、マッチング、事業化支援を経て、これまでに **74 件が事業化・製品化**に至っている。
- 当日は「特別賞」を授与する医師 7 名、ならびに「最優秀賞」、「優秀賞」、「奨励賞」をそれぞれ授与する企業 5 社に記念クリスタルを贈呈する。

<開催概要>

- 日 時 2025 年 7 月 28 日 (月) 13:30~17:45 (予定) ※終了後に交流会を実施
- 場 所 大阪商工会議所 7 階 国際会議ホール (大阪市中心区本町橋 2-8)
- 主 催 大阪商工会議所
- プログラム (予定)

<前半>

○MDF 医工共創アワード JAPAN

- ・開会挨拶：大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
(サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長)
- ・キーノート：大阪商工会議所 副会頭 相良 暁
(小野薬品工業株式会社 代表取締役 取締役会長 CEO)
- ・医師表彰：医工連携による医療機器開発に貢献した医師の表彰
- ・企業表彰：医工連携による医療機器の実用化に貢献した企業のプレゼンと表彰
- ・特別講演「機械と人間の調和」(仮題)
株式会社椿本チエイン 上席執行役員・新事業開発センター長 丹山 太 氏

<後半>

○次世代医療システム産業化フォーラム 2025 第 1 回医工連携マッチング例会

※MDF2025 会員限定

- ・モデレーター：次世代医療システム産業化フォーラム 座長代表 楠岡 英雄 氏
- ・特別講演：日本医療研究開発機構(AMED) 推進役 浅野 武夫 氏
- ・特別賞受賞医師による共同開発提案 (5 件程度)

- 参 加 費 無料

- 申 込 7 月 23 日 (水) までに以下 HP 内の申込フォームからお申し込みください。
<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202506/D23250606013.html>



(参考) 次世代医療システム産業化フォーラム (MDF) について

- 全国の医師、研究者、企業が参加する全国最大規模の医療機器開発支援プラットフォーム。
- 医療現場のニーズ発掘から製品のコンセプトづくり、試作品開発、薬事対応、製造・販売まで、医療機器開発のあらゆるステージを対象とした事業を展開。
- 医療機器の開発、事業化に至るプロセスにおける様々な課題解決を支援。
- 社会課題に連動した医療ニーズにも注目し、多様な企業の新事業開拓を推進。
- 医療機器開発支援の国内ネットワークを生かし、海外とのグローバルネットワークを構築。

以 上

<添付資料>①「MDF 医工共創アワード JAPAN」案内チラシ

②大阪商工会議所の医療機器等開発支援の実績ならびに MDF 医工共創アワード JAPAN の概要

MDF医工共創アワード JAPAN

～未来の医療をデザインする医工連携の最前線～

大阪商工会議所では、全国を対象とした医療機器開発支援プラットフォーム事業として2003年から実施する「次世代医療システム産業化フォーラム(Medical Device Industry Forum : MDF)」において、**医療従事者からの共同開発提案の累計が1,000件に到達**することを記念し、**医工連携による医療機器開発・事業化に貢献した医師と企業を称える「MDF医工共創アワードJAPAN」**を開催いたします。

本アワードでは、MDFの医工連携マッチング例会等を通じて事業化・製品化に至った74件の中から、医工連携の取り組みで成果を上げている新規参入型の企業5社をノミネート。当日はノミネート企業の中から、MDF座長陣の審査によって「最優秀賞」、「優秀賞」、「奨励賞」をそれぞれ決定し、表彰するほか、医工連携による医療機器開発に貢献した7名の医師にも「特別賞」を授与します。

日 時

2025年**7月28日**(月) 13:30～17:45

参加費

無料

場 所

大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

申込

7月23日(水)
までにHPから

<前半> : MDF医工共創アワードJAPAN

開会挨拶 : 大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
(サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長)

キーノート : 大阪商工会議所 副会頭 相良 暁
(小野薬品工業株式会社 代表取締役 取締役会長CEO)

医師表彰 : 医工連携による医療機器開発に貢献した医師の表彰

企業表彰 : 医工連携による医療機器の実用化に貢献した企業のプレゼンと表彰

特別講演 : 「機械と人間の調和」(仮題)

株式会社椿本チエイン 上席執行役員・新事業開発センター長 丹山 太 氏



<後半> : 次世代医療システム産業化フォーラム 第1回医工連携マッチング例会

※MDF2025会員限定

モデレーター : 次世代医療システム産業化フォーラム 座長代表 楠岡 英雄 氏
(独立行政法人 国立病院機構 名誉理事長)

特別講演 : 日本医療研究開発機構(AMED) 推進役 浅野 武夫 氏

特別賞受賞医師による共同開発提案 (5件程度)

※終了後交流会を開催

受賞医師・ノミネート企業

受賞医師（特別賞）



中島 清一 氏

大阪大学大学院 医学系研究科
次世代内視鏡治療学共同研究部門
特任教授

MDFを通じて3件を事業化。山科精器と共同開発した「吸引凝固嘴管」では、血液の吸引と電気凝固の機能を一つの機器に集約させ、新しい止血法を確立し、手術時間の短縮にも貢献。



菊池 大輔 氏

虎の門病院 分院消化管センター内科
特任部長
消化器と診断・治療内視鏡クリニック院長

MDFを通じて3件を事業化。朝日インテックと「大腸憩室結紮用デバイス」、安井や山科精器と「細径内視鏡で内視鏡治療を行うためのデバイス」の開発を行い実臨床に導入している。現在はENDreamを起業し、現場のニーズに応じた医療機器開発を実践している。



清水 雄介 氏

琉球大学病院 病院長補佐
琉球大学大学院 医学研究科 形成外科学
講座 教授

安井と共同で手術術野を明るくするためのコードレスLED照明付透明筋鉤「koplight」を開発。全国400以上の病院、クリニックに導入し、現在は欧州を中心とした海外展開を進めている



炭山 和毅 氏

東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座
講座担当教授

ものづくり企業や外資系メーカー、商社との共同研究コンソーシアムを構築し、「内視鏡手術向け組織牽引デバイス」を開発。「医療現場を企業に開放する」という試みのもと、現在も医師と企業の定期的な勉強会を開催。



吉松 淳 氏

国立循環器病研究センター
循環器病周産期センター長兼産婦人科部長

カナデピアと共同で世界初の「AIを用いた胎児不整脈診断支援システム」を開発。簡便で再現性の高い診断支援ツールを実現。異業種企業との連携によるマッチングが評価され「第7回日本オープンイノベーション大賞 厚生労働大臣賞」も受賞。



柴田 利彦 氏

大阪公立大学名誉教授
医学研究科 病因診断科学 特任教授

オーゼットケーと共同で自由に成形でき、即固定が可能な「心臓弁膜症手術用 術野展開用 開創器」を開発。心臓手術の際に狭い範囲の手術視野を大きく確保することに役立っている。



丸岡 豊 氏

国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター 歯科・口腔外科 診療科長

安井と共同で「骨に描けるペン」を開発。これまでになかった人体に安全なインクを用いて、正確に細くて消えない線を描くことを実現。

ノミネート企業（最優秀賞を決定）



入江工研株式会社（東京都）

大気圧と真空の圧力差を動力源とした無電源の吊るさない点滴を開発。災害現場や野外イベントでの活用が期待される。



株式会社エスケーエレクトロニクス（京都府）

子宮頸部の精密検査に使用されるコルポスコープの小型化・デジタル化に成功。小規模な婦人科クリニックの診察室や女性でも扱いやすい医療機器の開発に寄与。



ハリキ精工株式会社（大阪府）

手元の操作で先端を動かすことができる経鼻内視鏡下手術用の吸引管を開発。狭くて深い術野の深部で、広範囲に吸引が可能となり、医師の作業効率向上に貢献。



安井株式会社（宮崎県）

プラスチック製造技術を活用し、外科手術の際に術野を明るく照らすLED照明付きコードレス透明プラスチック鉤を開発。コードレスかつ照明を搭載している独自性が海外からも高く評価されている。



山科精器株式会社（滋賀県）

消化管腔内の洗浄・吸引・色素散布ができる内視鏡用処置具を開発。先端から液体を噴射もしくは吸引することにより、効率的な洗浄と粘膜組織に優しい愛護的な吸引が可能に。

大阪商工会議所の医療機器等開発支援の実績（2003年～）

～マッチングから開発、製造、販路開拓まで一貫して支援～

MDF

- 医工連携は医療機関と企業との最適なマッチングをコーディネートする仲介役が必要で今後もその必要性は変わらない。本所はその役割を長年維持するとともに、切れ目ない事業化支援体制を構築、発展させてきた。

全国随一の医療機器等開発支援の取り組み



参画企業のべ数
3211社
(重複を除いた企業数955社)



事業化相談件数
2452社・4564件
※2015年以降の集計



医療現場ニーズ提案数
999件



面談数・マッチング率
3,446件・96.7%



事業化件数
74件



全国連携ネットワーク
190機関

“ MDF医工共創アワードJAPAN ” ～未来の医療をデザインする医工連携の最前線～

- 大阪・関西万博会期中の2025年、本所「次世代医療システム産業化フォーラム」（Medical Device Industry Forum: MDF）における医療従事者から企業に向けた共同開発提案の累計が1,000件に到達することを記念したイベント
- 医工連携による医療機器開発・事業化に貢献した医師・企業を称えるアワードを初開催
- キーノート・医工連携の実績が豊富な医師による共同開発提案・万博展示も展開する事例を紹介する特別講演などで構成
- 万博を機に、医療に関心が寄せられる中、医工連携への貢献者にスポットライトを当てることで、多様な企業や医療関係者の理解を得て、さらなるマッチング・事業化支援を行い、現場ニーズに基づいた医療機器開発の加速を目指す。

<MDF医工共創アワードとは？>

医師

医工連携マッチング、共同開発を通じた
医工連携に向けた取り組み姿勢、医療機器の事業化や成果を表彰

企業

医工連携による医療機器開発、
事業化を通じた社会課題解決への寄与度
や企業価値向上等、取り組み全般を表彰